

津山工業高等専門学校		開講年度	平成31年度 (2019年度)		授業科目	人間と文学	
科目基礎情報							
科目番号	0015		科目区分		一般 / 選択		
授業形態	講義		単位の種別と単位数		学修単位: 2		
開設学科	電子制御工学科		対象学年		4		
開設期	前期		週時間数		2		
教科書/教材	教科書：ディケンズ『クリスマス・キャロル』（光文社古典新訳文庫）						
担当教員	山口 裕美						
到達目標							
学習目的：言葉を通して、豊かに考える力を養う。							
到達目標： 1.作家や作品に関する知識を獲得する。 2.作品を鑑賞し、主題を理解できる。 3.グループでの協力ができる。							
ルーブリック							
	優		良		可		不可
評価項目1	作家や作品に関する知識を十分に獲得する。		作家や作品に関する知識をおおむね獲得する。		作家や作品に関する知識を最低限は獲得する。		作家や作品に関する知識を獲得できない。
評価項目2	作品を鑑賞し、主題を十分に理解できる。		作品を鑑賞し、主題をおおむね理解できる。		作品を鑑賞し、主題を最低限は理解できる。		作品を鑑賞し、主題を理解できない。
評価項目3	グループでの協力が十分にできる。		グループでの協力がおおむねできる。		グループでの協力が最低限はできる。		グループでの協力ができない。
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	一般・専門の別：一般・人文 必修・履修・履修選択・選択の別：履修選択 基礎となる学問分野：人文学／文学・言語学 学科目標との関連：本科目は一般科目学習目標「（３）生きるための活力と、その自由な表現力を身につける」に相当する科目である。 技術者教育プログラムとの関連：本科目が主体とする学習・教育到達目標は「B（B－2）地球上の多様な歴史観・文化・習慣の違いを理解し、説明できること」であるが、付随的には「B－1」「B－3」「D－3」にも関与する。 授業の概要：優れた文学作品を解釈・鑑賞しながら、豊かな物の見方や考え方を養う。						
授業の進め方・方法	前期開講科目である。授業は、講義や作品鑑賞もおこなうが、実際に複数のグループを編成し、劇を演じることを中心とする。また、作品の要旨をまとめることを課題とする。 成績評価方法：課題提出２５％，小テスト２５％，グループ発表３０％，相互評価２０％で評価をおこなう。定期試験はおこなわない。						
注意点	履修上の注意：本科目は「授業時間外の学習を必修とする科目」である。１単位あたり授業時間として１５単位時間開講するが、これ以外に３０単位時間の学習が必修となる。これらの学習については担当教員の指示に従うこと。 履修上のアドバイス：日頃から文章を読み、自分の意見や考えを持つようにする。 基礎科目：国語Ⅰ（１年），国語Ⅱ（２），国語Ⅲ（３） 関連科目：国語Ⅳ（４） 受講上のアドバイス：授業開始後２０分を過ぎてからの入室は欠課として扱う。文学作品だけではなく、映画や演劇，アニメーションや漫画に興味をもてるようになること。						
授業計画							
		週	授業内容			週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	ガイダンス / 作品紹介			授業の概要を理解する	
		2週	『クリスマス・キャロル』鑑賞			映画鑑賞をし、作品の概要を理解する	
		3週	ワークショップ 1			グループ活動で作品を輪読し、内容が説明できる	
		4週	ワークショップ 2			グループ活動で作品を輪読し、内容が説明できる	
		5週	ワークショップ 3			グループ活動で作品を輪読し、内容が説明できる	
		6週	ワークショップ 4			グループ活動で作品を輪読し、内容が説明できる	
		7週	ワークショップ 5			グループ活動で作品を輪読し、内容が説明できる	
		8週	ワークショップ 6			グループ活動で作品を輪読し、内容が説明できる	
	2ndQ	9週	ワークショップ 7			グループ活動で作品を輪読し、内容が説明できる	
		10週	ワークショップ 8			グループ活動で作品を輪読し、内容が説明できる	
		11週	『クリスマス・キャロル』映像鑑賞			映画鑑賞をし、作品の概要を理解する	
		12週	小テスト			単独で、作品の主題をまとめる	
		13週	課題発表			単独で、文学作品を紹介する	
		14週	課題発表			単独で、文学作品を紹介する	
		15週	課題提出			単独で、文学作品を紹介する	
		16週	まとめ			授業のまとめをおこなう	
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週

評価割合							
	試験	発表	相互評価	課題	小テスト	その他	合計
総合評価割合	0	30	20	25	25	0	100
基礎的能力	0	15	10	25	25	0	75
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	15	10	0	0	0	25